

がん登録について

(1) 現行のがん登録

	地域がん登録	院内がん登録	臓器がん登録
実施主体	都道府県	病院	専門家
位置づけ	がん対策基本法	がん対策基本法	
目的	住民をがんから守るために	病院機能を高めるために	がん医療の質を高めるために
対象	地域住民に発生した全部位、全がん種の罹患率、生存率	自施設を受診したがん患者の全部位、全がん種の診療数、生存率	特定の種類のがん患者の生存率
内容	実態、推移を分析する	実態を分析する	治療前情報、治療情報等を用いて詳細に分析、評価する
応用例	年齢調整罹患率 部位別罹患率	部位別の診療数	新しい治療を受けた患者の生存率
比較の例	他の地域	他の病院	以前の治療方法
最新報告年	2010年(H26.3報告)	2012年(H26.7報告)	

(2) がん登録等推進法
施行後(変更部分)

臓器がん登録は、
がん登録等推進法の対象外

	全国がん登録	院内がん登録	臓器がん登録
実施主体	国が都道府県とともに		
位置づけ	がん登録等の推進に関する法律		
対象	日本住民に発生した全部位、全がん種の罹患率、生存率		

「奈良県のがん登録 2009（平成 21）年・2010（平成 22）年」の概要

I 奈良県地域がん登録事業の概要

1 目的

県内に住所を有する者を対象に、がん患者の発症、死亡及び医療状況の実態を把握することにより、がんの罹患率の測定等を行い、本県におけるがん対策の推進と医療水準の向上に資するとともに、県民の健康増進に寄与することを目的とする。

2 概要

○実施主体及び運営主体

- ・実施主体は奈良県
- ・地域がん登録室は、平成 24 年 1 月から奈良県医療政策部保健予防課内に設置

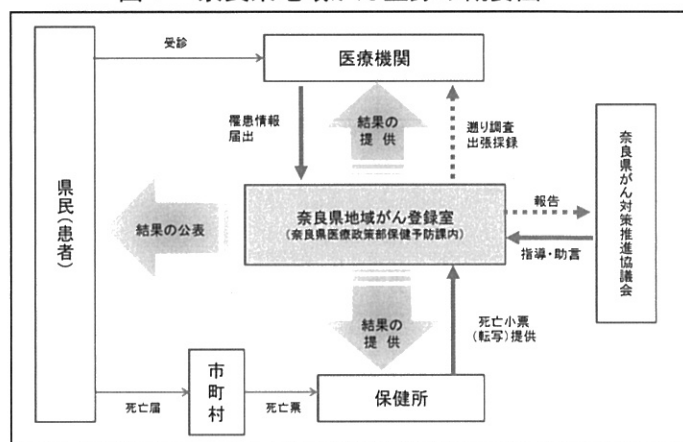
○登録対象者

- ・県内に住所を有する者であって、がんと診断された者及びがんにより死亡した者

○情報収集

- ・がんの診断、治療等の情報は、県内の医療機関等からの届出票により収集
- ・がんによる死亡情報は、県内の保健所からの人口動態調査死亡小票（転写）により収集（図 1）

図 1 奈良県地域がん登録の概要図



II 最新がん統計

1 本報告書の集計について

○集計期間

罹患年月日（がんと診断された日又はがんにより死亡した日）が 2009（平成 21）年 1 月 1 日から 2010（平成 22）年 12 月 31 日までの 2 年間

○集計時期

2013（平成 25）年 9 月 1 日現在

2 罹患の状況

(1) 罹患の概要

- ・罹患数について、2009 年は 9,284 件（男性 5,557 件、女性 3,727 件）、2010 年は 9,289 件（男性 5,440 件、女性 3,849 件）となっている。
- ・部位別の罹患数では、2009 年、2010 年とも男性では「肺」、「胃」、「前立腺」の順、女性では「乳房」、「胃」、「肺」の順であった。（表 1、図 2）

<留意点>

- ・地域がん登録では、医療機関からの届出票と、保健所からの死亡小票により、がんの罹患を把握しているが、今回の集計では約 3 割が死亡情報のみからの把握となっている。
- ・このため実際には 2009 年以前にがんと診断されていた場合であっても、死亡年月日を罹患年月日として登録していることから、罹患数の解釈に当たっては、次の点に留意する必要がある。

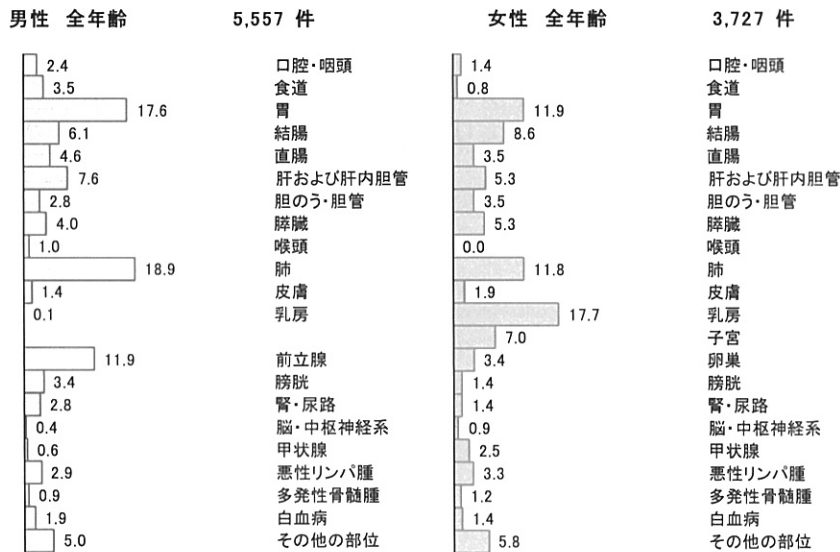
- ① 生存率の低い部位（肺など）の罹患数・率は実際より高い可能性がある。
- ② 生存率の高い部位（前立腺など）の罹患数・率は実際より低い可能性がある。

表1 罹患数及び部位別罹患数・罹患割合

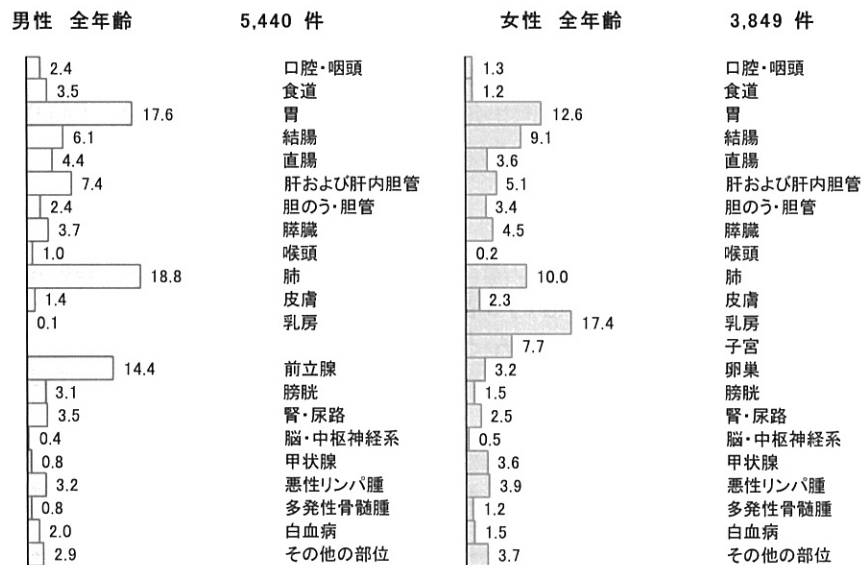
罹患年	罹患数		部位別罹患数・罹患割合(上位3部位)						
			1位		2位		3位		
	総罹患数	内訳	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	
2009年	9,284件	男性	5,557件	肺	1,049件(18.9%)	胃	979件(17.6%)	前立腺	664件(11.9%)
		女性	3,727件	乳房	659件(17.7%)	胃	442件(11.9%)	肺	440件(11.8%)
2010年	9,289件	男性	5,440件	肺	1,024件(18.8%)	胃	957件(17.6%)	前立腺	784件(14.4%)
		女性	3,849件	乳房	670件(17.4%)	胃	485件(12.6%)	肺	386件(10.0%)

図2 部位内訳(%)

(2009年)



(2010年)



注) 上皮内がんを除く

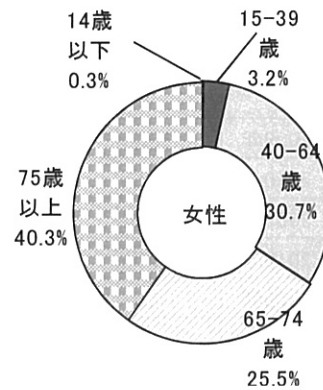
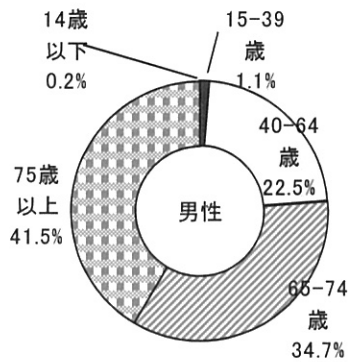
(2) 年齢別に見たがんの罹患

- ・年齢別では、2009年、2010年とも、男性では全体の約3/4、女性では全体の約2/3が65歳以上である。
- ・総数では、男性の方が女性よりも多いが、15～39歳では、女性の方が男性よりも多い。これは、この年齢層の子宮頸がんと乳がんが多いためである。(図3、表2)

図3 年齢階級別内訳(%)

(2009年)

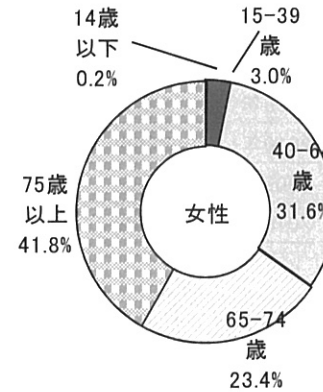
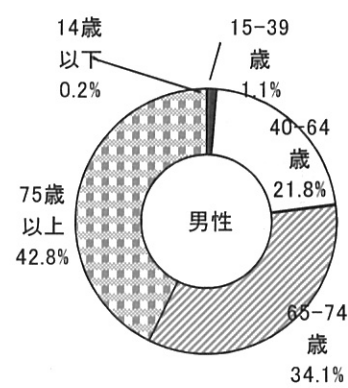
年齢階級	男性
14歳以下	11
15-39歳	59
40-64歳	1,252
65-74歳	1,930
75歳以上	2,305
合計	5,557



女性	年齢階級
12	14歳以下
119	15-39歳
1,144	40-64歳
950	65-74歳
1,502	75歳以上
3,727	合計

(2010年)

年齢階級	男性
14歳以下	9
15-39歳	61
40-64歳	1,184
65-74歳	1,857
75歳以上	2,329
合計	5,440



女性	年齢階級
9	14歳以下
114	15-39歳
1,215	40-64歳
902	65-74歳
1,609	75歳以上
3,849	合計

表2 年齢階級別・部位別罹患数・罹患割合

区分	年齢階級	罹患数	2009年						2010年						
			部位別罹患数・罹患割合(上位3部位)						部位別罹患数・罹患割合(上位3部位)						
			1位		2位		3位		1位		2位		3位		
部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)				
男性	15-39歳	59件	その他の部位	21件(35.6%)	白血病	11件(18.6%)	胃	6件(10.2%)	61件	その他の部位	19件(31.1%)	白血病	13件(21.3%)	悪性リンパ腫	8件(13.1%)
	40-64歳	1,252件	胃	233件(18.6%)	肺	201件(16.1%)	その他の部位	171件(13.7%)	1,184件	胃	219件(18.5%)	肺	175件(14.8%)	その他の部位	126件(10.6%)
	65-74歳	1,930件	胃	345件(17.9%)	肺	333件(17.3%)	前立腺	289件(15.0%)	1,857件	肺	345件(18.6%)	胃	337件(18.1%)	前立腺	315件(17.0%)
	75歳以上	2,305件	肺	513件(22.3%)	胃	395件(17.1%)	前立腺	289件(12.5%)	2,329件	肺	503件(21.6%)	胃	397件(17.0%)	前立腺	344件(14.8%)
女性	15-39歳	119件	乳房	36件(30.3%)	子宮	20件(16.8%)	その他の部位	13件(10.9%)	114件	乳房	31件(27.2%)	子宮	22件(19.3%)	その他の部位	14件(12.3%)
	40-64歳	1,144件	乳房	375件(32.8%)	子宮	139件(12.2%)	肺	101件(8.8%)	1,215件	乳房	374件(30.8%)	子宮	165件(13.6%)	胃	110件(9.1%)
	65-74歳	950件	乳房	158件(16.6%)	肺	122件(12.8%)	胃	115件(12.1%)	902件	乳房	147件(16.3%)	胃	116件(12.9%)	肺	109件(12.1%)
	75歳以上	1,502件	胃	231件(15.4%)	肺	212件(14.1%)	その他の部位	194件(12.9%)	1,609件	胃	252件(15.7%)	肺	205件(12.7%)	結腸	191件(11.9%)

注) 上皮内がんを除く

3 受療状況 (発見経緯)

- ・「がん検診」もしくは「健康診断や人間ドック」が発見の契機となった症例の割合は、2009年では、胃 16.4%、大腸 15.2%、肺 12.6%、乳房 23.0%、子宮頸部 29.1%であり、2010年では、胃 16.5%、大腸 19.3%、肺 12.8%、乳房 23.7%、子宮頸部 37.6%であった。
- ・「その他不明」には、何らかの自覚症状等により医療機関を受診した際の発見が含まれていることから、その割合が多いと推察される。(表3)

表3 部位別発見経緯 (%) :

区分		がん検診+健診・人間ドック		他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)	
		がん検診	健診・ 人間ドック				
胃	2009年	16.4%	7.2%	9.2%	28.2%	0.0%	55.4%
	2010年	16.5%	7.8%	8.7%	31.9%	0.0%	51.6%
大腸(結腸・直腸) *上皮内がんを含む	2009年	15.2%	9.0%	6.2%	23.2%	0.0%	61.5%
	2010年	19.3%	13.0%	6.3%	25.3%	0.0%	55.3%
肝および肝内胆管	2009年	2.0%	0.7%	1.3%	67.1%	0.0%	30.9%
	2010年	1.0%	0.0%	1.0%	70.7%	0.0%	28.2%
肺 *上皮内がんを含む	2009年	12.6%	4.4%	8.2%	38.5%	0.0%	48.9%
	2010年	12.8%	4.9%	7.9%	36.1%	0.0%	51.0%
乳房(女性のみ) *上皮内がんを含む	2009年	23.0%	21.3%	1.7%	9.1%	0.0%	68.0%
	2010年	23.7%	21.0%	2.7%	10.6%	0.0%	65.7%
子宮頸部 *上皮内がんを含む	2009年	29.1%	24.6%	4.5%	17.1%	0.0%	53.8%
	2010年	37.6%	33.8%	3.8%	15.8%	0.0%	46.5%
前立腺	2009年	15.0%	5.5%	9.5%	39.9%	0.0%	45.2%
	2010年	19.4%	9.6%	9.8%	36.1%	0.1%	44.3%

4 死亡の状況

- ・死亡数について、2009年は3,745人(男性2,270人、女性1,475人)、2010年は4,046人(男性2,418人、女性1,628人)となっている。
- ・部位別の死亡数では、2009年、2010年とも男性では「肺」、「胃」、「肝および肝内胆管」の順、女性では2009年は「肺」、「胃」、「結腸」の順、2010年は「胃」、「肺」、「結腸」の順であった。(表4)

表4 死亡数及び部位別死亡数・死亡割合

死亡年	死亡数		部位別死亡数・死亡割合(上位3部位)						
			1位		2位		3位		
	総死亡数	内訳	部位	死亡数 (割合)	部位	死亡数 (割合)	部位	死亡数 (割合)	
2009年	3,745人	男性	2,270人	肺	567人 (25.0%)	胃	397人 (17.5%)	肝および 肝内胆管	245件 (10.8%)
		女性	1,475人	肺	238人 (16.1%)	胃	192件 (13.0%)	結腸	141人 (9.6%)
2010年	4,046人	男性	2,418人	肺	634人 (26.2%)	胃	393人 (16.3%)	肝および 肝内胆管	265人 (11.0%)
		女性	1,628人	胃	229人 (14.1%)	肺	209人 (12.8%)	結腸	162人 (10.0%)

がん診療連携拠点病院 院内がん登録全国集計

院内がん登録は、一般的に初発のがんの診断・治療について登録、集計を行い医療状況の実態を把握することにより、患者の診療支援、医療施設におけるがん治療・看護・ケアサービスの評価やそれに基づく質の向上のための基礎資料を形成し、根拠に基づく医療を実現するための仕組み。

(がん診療連携拠点病院(全国397病院)の指定要件)

○2012年全国集計報告書(2014年8月25日 がん情報サービス掲載)概要

がん診療連携拠点病院 集計登録数の推移 ※1

	2009年	2010年	2011年	2012年
全国	487,441	530,363	563,422	590,856
奈良県	6,104	6,880	7,193	7,498
集計対象施設数 (奈良県提出施設数)	370 (5)	387 (5)	395 (5)	397 (5)

集計登録数は年々増加しており、2012年について、全国では2009年より103,415(約21%)増加の590,856となった。奈良県においても2009年とより1,394(約23%)増加の7,498となった。

出典:がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2009年~2012年 全国集計報告書より県作成

※1 登録数は施設、部位別、総数

県内がん診療連携拠点病院の県民治療カバー率 ※2

項目		2009年 平成21年	2010年 平成22年	2011年 平成24年	2012年 平成25年
診断時住所が奈良県 である者の登録数	県内拠点病院での登録数(A)	5,462	6,142	6,266	6,617
	県外拠点病院での登録数(B)	905	948	948	1,043
	計(A+B)	6,367	7,090	7,214	7,660
奈良県のがんによる死亡数(実数)(C)		3,745	4,046	4,061	4,019
推計がん罹患死亡比(D)		2.02	2.09	2.19	2.28
概算がん罹患数(C×D=E)		7,565	8,456	8,894	9,163
県内拠点病院の県民治療カバー率(A÷E)		72.2%	72.6%	70.5%	72.2%

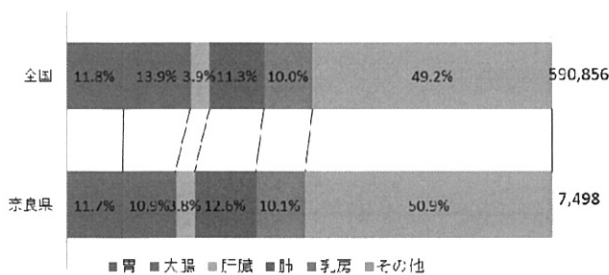
2012年の県内がん診療連携拠点病院の県民治療カバー率は72.2%で、2011年より1.7%増加し、2009年と同率となった。

出典:がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2009年~2012年 全国集計報告書より県作成

※2 登録数は都道府県、診断時住所別

部位別登録比較(全国・奈良)

N=100%

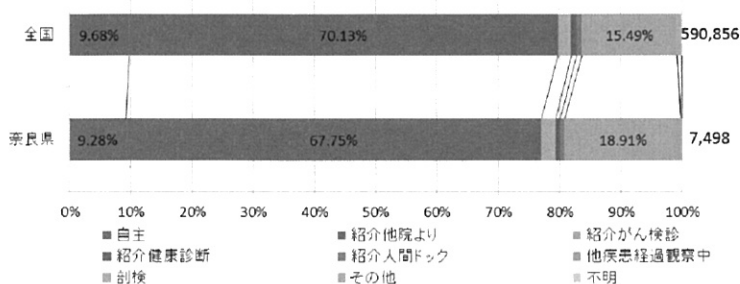


2012年の部位別登録について、全国では「大腸」の登録が最も多く81,885(13.9%)、続いて「胃」69,541(11.8%)、「肺」66,756(11.3%)、「乳房」58,813(10.0%)、「肝臓」23,000(3.9%)となった。奈良県では「肺」が最も多く944(12.6%)、続いて「胃」877(11.7%)、「大腸」815(10.9%)、「乳房」760(10.1%)、「肝臓」288(3.8%)となった。

出典:がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2012年全国集計 報告書 付表1より県作成

来院経路別比較(全国・奈良)

N=100%



来院経路別において、全国は「紹介他院より」が414,388で全体の約70%となった。続いて、「他疾患経過観察中」91,543(15.49%)、「自主」57,189(9.68%)となった。奈良県でも「紹介他院より」が5,080で全体の約68%となった。続いて、「他施設経過観察中」1,418(18.91%)、「自主」696(9.28%)となった。

出典:がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2012年全国集計 報告書 付表5より県作成

○5大がんの年齢別治療方法集計【特別集計】

「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2012年全国集計 報告書」では、5大がんの年齢別治療方法集計を掲載。これは5大がん（胃、大腸、肝臓、肺、乳房）の年齢別初回治療方法と診断時病期で、高齢者や働く世代などライフステージごとの医療のあり方を検討していくための実態把握のために集計。

（年齢別に診療実態を把握する統計。）

詳しくは、国立がん研究センター又はがん情報サービスに掲載

- ・国立がん研究センター/プレスリリース/院内がん登録2012年集計報告
http://www.ncc.go.jp/jp/information/press_release_20140825.html
- ・がん情報サービス/がん診療連携拠点病院等院内がん登録全国集計
http://ganjoho.jp/professional/statistics/hosp_c_registry.html

(例) 国立がん研究センター/プレスリリース/ 院内がん登録2012年集計報告 概要説明資料

胃癌 II期

2012年報告書 抜粋 特別集計
5部位の年齢別にみた治療方法

胃癌 UICC TNM分類治療前病期II期

